

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	グラン・シードNextルーム		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 19日		～ 2026年 2月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		～ 2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが「大好きな場所」として安心感をもって通所し、保護者の皆様からも高い満足度をいただいている点が強みです。また、日頃からLINEを活用していつでも気軽にご相談いただける体制を整えており、ご家庭と密な連携が取れている点も大きな特徴です。	一人ひとりが集中して学習や活動に取り組めるよう、必要に応じてパーテーションを活用し、落ち着けるスペースを作るよう工夫しております。また、日々の活動の様子をInstagramで発信し、ご家庭に安心をお届けしています。	保護者様からいただいた「もう少し面談の回数を増やしてほしい」というご要望に真摯にお応えし、今後は定期的な面談の機会を意識的に増やそうと考えています。また、進路やご家庭でのお悩みに対し、これまで以上に寄り添い、丁寧なサポートを充実させます。
2	元中学校教師など経験豊富なスタッフによる手厚い「学習支援」や、「SST（ソーシャルスキルトレーニング）」など、年齢やニーズに合わせた専門的な支援を提供できている点が強みです。不登校のお子様へのサポートにも力を入れております。	中高生向けのSSTにおいて、やりたいことをみんなで話し合い、計画・実行に至るまでの全行程を「子どもたち主体」で行うよう工夫しています。この過程を通じて、将来社会に出た際に必要となる『自立心』や『判断力』『協調性』を自然と育めるよう意識して取り組んでおります。	職員が研修等に参加する機会をさらに増やし、支援スキルの向上を図ってまいります。元教員などの多様な経験を持つスタッフ同士が知識を共有し、ルーム全体としての支援力を高めることで、より質の高い療育を提供してまいります。
3	田植え体験やパークゴルフ、札幌市内のフェスへの参加など、多彩な課外活動を積極的に取り入れている点です。他施設と合同で行うイベント等も実施しており、楽しみながら社会性や協調性を身につけられる環境が保護者様からも好評を得ております。	将来の就労や自立を見据え、公共交通機関を利用した移動や職業体験など、地域社会と関わる機会を意識的に設けています。また、進学や就職に向けたライフプランニングについて、ご家庭と一緒に考えサポートする体制を大切にしています。	現在実施している田植え体験やパークゴルフなどの課外活動について、さらに内容を発展させ、地域の皆様や他の子どもたちと交流できる機会をより多く模索してまいります。多様な経験を通じて、次の一歩を踏み出す自信に繋がります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様を対象とした家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の実施や、ご家族向けの情報提供について「あまり聞いたことがない」というお声があり、ご家族へのサポート体制やそのご案内に改善の余地がある点です。	中高生がメインの施設であるため、児童自身の自主性を重んじるSSTや学習支援、多彩な課外イベントの企画・運営に職員力を注いでまいりました。そのため、保護者様向けの学習会企画や、運営体制に関する詳細なお知らせ等に十分な時間を割けておりませんでした。	「いつでもLINEで相談できて助かっている」という嬉しいお声をさらに活かし、ご家庭での関わり方のヒント（ペアレント・トレーニング的な視点）や進路に関する情報などを、LINEや通信を通じて定期的に発信してまいります。形式ばった勉強会だけでなく、日常の中で手軽に必要な情報や安心感を得ていただけるような工夫に努めます。
2	日々のイベント等については発信できているものの、1日の職員の配置状況や、非常災害時の避難訓練・防犯マニュアルの取り組み内容等について、保護者の皆様へのご案内や周知がまだ十分に届いていない点に課題を感じております。	Instagram等を通じて、子どもたちが楽しんでいる活動の様子をタイムリーにお伝えすることには力を入れてまいりましたが、その一方で、日々の職員体制や防災訓練の様子といった「安全・運営に関わる情報」を定期的にお伝えする意識が不足していたと考えております。	日々の活動報告に加え、事業所の職員体制や、定期的実施している避難訓練の様子などを、お便りやSNS等を通じて保護者の皆様へ分かりやすく「見える化」し、これまで以上の安心感に繋がってまいります。
3	「こちらがしてほしいことをお願いしている」というお声がある通り、事業所側から先に保護者様のニーズを汲み取り、ご提案する姿勢がやや不足してしまう場面がありました。よりきめ細やかな情報共有と提案力の向上が今後の課題です。	子ども自身の意思を優先するあまり、保護者様が潜在的に抱えているご要望を先回りして汲み取り、事業所側から積極的に支援内容をご提案する意識がやや後手に回ってしまっていたことが要因として考えられます。	LINE等での気軽なご相談体制をさらに活かしつつ、事業所側からも「このような支援はいかがでしょうか」と積極的にお声がけ・ご提案ができるよう、職員間でのアセスメント（課題分析）と情報共有をより一層強化してまいります。